

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第 1 面）

特別管理産業廃棄物処理計画書	
2025 年 6 月 27 日	
群馬県知事 あて	
提出者 〒 375-0043 住 所 群馬県藤岡市東平井 1 4 6 7 番地 氏 名 市光工業株式会社 藤岡製造所 執行役員 市川 郁男 （法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 電話番号 0 2 7 4 - 2 3 - 2 2 1 1	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の 2 第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事 業 場 の 名 称	市光工業株式会社 藤岡製造所
事 業 場 の 所 在 地	群馬県藤岡市東平井 1 4 6 7 番地
計 画 期 間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事 業 の 種 類	電気機械器具製造業
②事 業 の 規 模	製造品出荷額 29,682百万円／年
③従 業 員 数	626 人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙 1、図 1・2 に記載

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙 - 2

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2024 年度）実績】				
	特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ（第3号）		廃油（廃シンナー）	
	排出量	51.42	t	13.14	t
	(これまでに実施した取組)				
②計画	【目標】				
	特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ（第3号）		廃油（廃シンナー）	
	排出量	51.42	t	13.14	t
	(今後実施する予定の取組)				

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ（第3号）	廃油（廃シンナー）
	全処理委託量	51.42 t	13.14 t
	優良認定処理業者への処理委託量	51.42 t	13.14 t
	再生利用業者への処理委託量	t	13.14 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ（第 3 号）	廃油（廃シンナー）
	全 処 理 委 託 量	51.42 t	13.14 t
	優良認定処理業者への処理委託量	51.42 t	13.14 t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	13.14 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度（2024 年度）実績】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	廃アルカリ 51.42 t 廃シンナー 13.14 t	
	(今後実施する予定の取組等)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

1. 会社の概要

- (1) 会社名
市光工業株式会社
- (2) 資本金
89億2953万円
- (3) 従業員数
1783 人

2. 事業の概要

- (1) 従業員数（藤岡製造所）
626 人
- (2) 製造品出荷額
29,682 百万円
- (3) 製造概要
自動車部品の製造を行い原材料となる樹脂材料を使用し、塗装工場でのシンナーアルミ蒸着工場で治具洗浄としてアルカリ(PH12.5以上)を使用している。

生産数（2024年度実績）

蒸着工場生産数	約 5,290,000 個/年
塗装工場生産数	約 1,781,000 個/年
合 計	約 7,072,000 個/年

生産数（2025年度予定）

蒸着工場生産数	約 5,120,000 個/年
塗装工場生産数	約 1,482,000 個/年
合 計	約 6,602,000 個/年

(4) フローシート

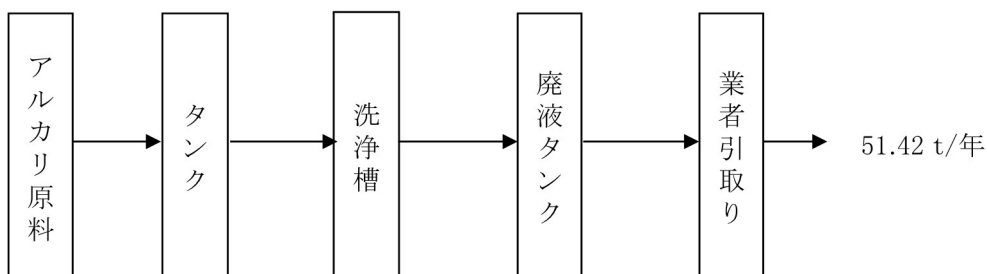


図 1 アルカリ洗浄フローシート2024年実績

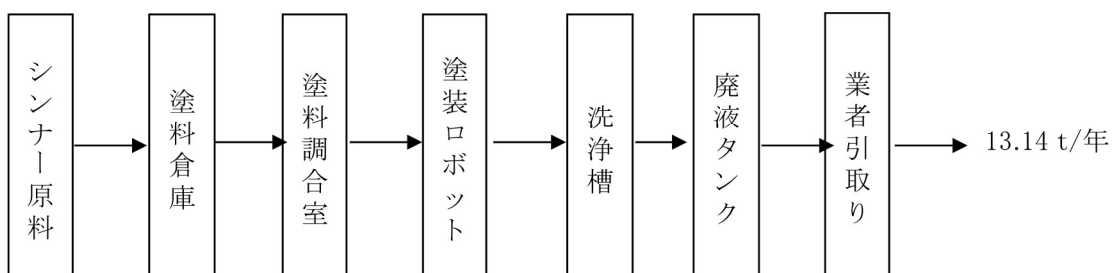


図 2 洗浄シンナーフローシート2024年実績

計画期間

ISO-14001による環境中期計画書に沿って毎年実施する。

管理体制の強化

工場内にあるISO事務局と各部署による廃棄物処理に対応するための組織を編成し毎月/1回の会議を開催し協議を実施する。

情報公開

廃棄物処理に関する信頼性を確保するため、廃棄物の発生、分別、再生利用状況について情報の公開に努める。

廃棄物の処理に関する事項

基本的事項

- ① 産業廃棄物の適正処理を確保するため、関連する法令、その他の規則を遵守するとともに行政の環境施策に協力する。
- ② 発生した産業廃棄物は収集運搬から処分に至るまで確認し管理する。
- ③ 最終処分量の削減、再生利用の拡大等について、目標数値を定め実施する。目標及び計画は環境中期計画書に基づき実施する。
- ④ 廃棄物の処理について社内及び関連会社にも指導を行なう。

発生の制御

- ・工場内における各専門部会を中心にリサイクル化を推進する。
- ・製品不良低減活動を推進する。

再生利用

- ・再生利用ルートを確保する。
- ・資源化、燃料利用を推進する。

その他

- ・処理内容を確認し、処理業者と適正な契約を締結する。
- ・特別管理産業廃棄物の適正処理を確保する。

分別に関する事項

- ・工程毎に発生した物を危険物倉庫内に保管して業者へ移動する。(廃油)
- ・自動制御装置により屋外タンクへ送り保管後、業者へ移動する。(廃アルカリ)

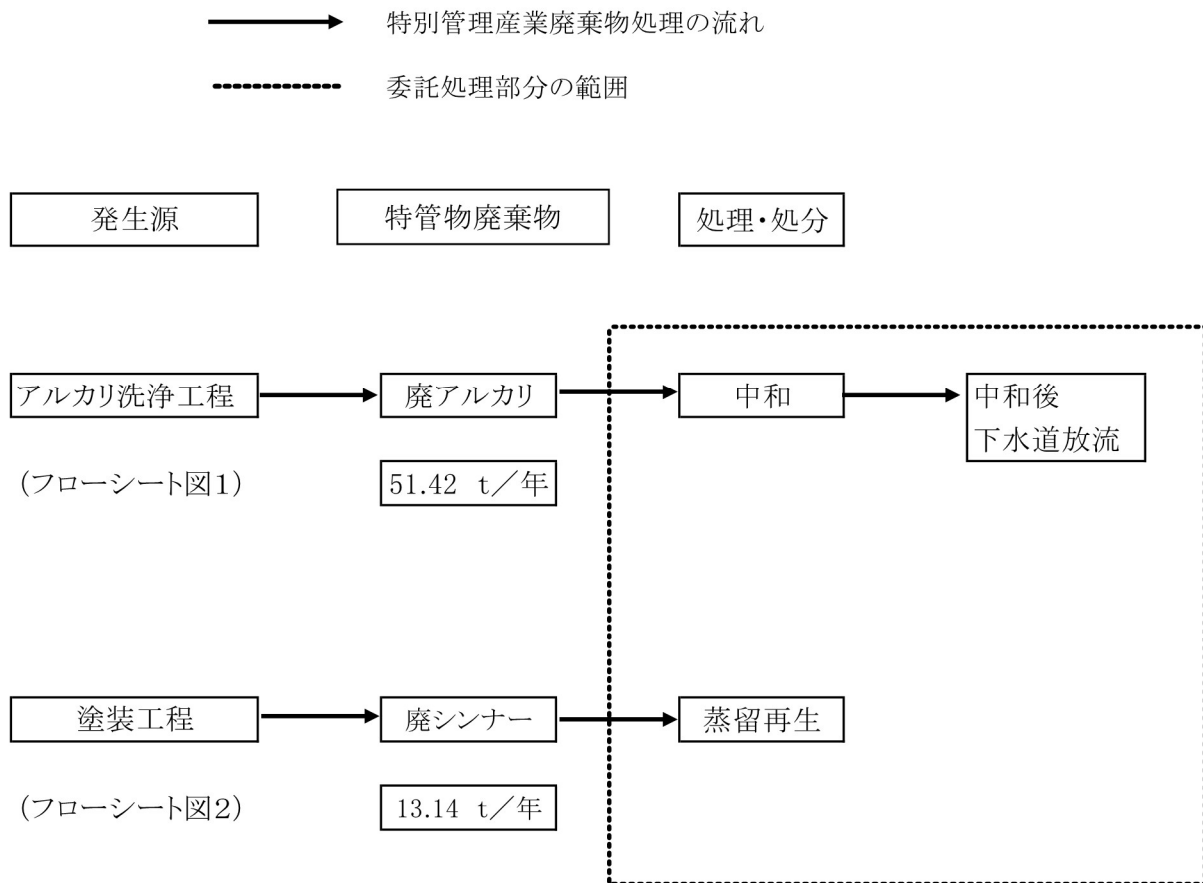
その他の取組み

- ①処理業者と契約を結ぶに当り事前の現地確認(処理状況、管理状況、周辺状況)と契約後の定期的な確認を行なう。

3 事業展望

自動車デザインの多様化により弊社製品形状も複雑化している。
そうした中でも工夫を凝らし塗装を行わない設計を推進し、
得意先に塗装レスの提案を行い特別管理産業廃棄物量の
削減を図っている。

4 廃棄物処理フロー図（現状）



5 連絡先

群馬県藤岡市東平井1467 番地
市光工業株式会社藤岡製造所

